

会 議 録

会議の名称	第1回白岡市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日	平成27年7月1日(水)
開催時間	午後6時から午後8時まで
開催場所	はびすしらおか会議室6・7
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	熊坂敏彦、大橋登、中村輝久、五十嵐泰子、西村恵子、佐々木操、高橋純悦、高橋道禎、小林伸子、佐藤弘子、島村隆、安藤貴徳、橋本正秀、石塚昭仁、岩上陽子、細井宣雄 出席者：16名
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	なし
説明員の職・氏名	企画政策課創生戦略室 室長 白田 進 主幹 千葉 智則 主査 濱田 貴央
事務局職員の職・氏名	企画政策課長 八木橋昌美 企画政策課創生戦略室 室長 白田 進 主幹 千葉 智則 主査 濱田 貴央
その他会議出席者の職・氏名	白岡市長 小島卓 副市長 秋葉清一郎 総合政策部長 笠原英之 (株)ジャパンインターナショナル総合研究所 竹澤 慎太郎 小林 幹生
傍聴者数	5人 別添傍聴者名簿のとおり
会議次第	別添のとおり
配布資料等	資料1 まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」 資料2 白岡市まち・ひと・しごと創生に関する推進組織と役割 資料3 白岡市地方創生関係スケジュール(平成27年度) 講演会資料 「まち・ひと・しごと創生について」－「地方創生」において重要なこと－

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
小島市長	<p>1 開会</p> <p>2 委員委嘱 ～各委員に委嘱状交付～</p>
小島市長	<p>3 あいさつ ～挨拶～</p>
事務局（白田）	<p>4 委員紹介 ～順に自己紹介～</p> <p>（事務局職員、委託業者の出席者の紹介及び会議の公開について説明）</p>
事務局（白田）	<p>5 議事</p> <p>（1）委員長及び副委員長の選任について</p> <p>委員長、副委員長については、白岡市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱第3条第3項において、「有識者会議に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によってこれを定める」と規定しています。皆さまからご意見を頂きたいと思います。</p>
A委員	<p>委員長に白岡市行政区長会の佐々木操さんを推薦します。佐々木さんは、長く地元行政区長として地域の方々とさまざまな事業を行い、現在は行政区長会、45行政区の束ね役として、市とも関連が強く、非常に見識の高い方と存じます。</p>
事務局（白田）	<p>ただ今、委員長に、行政区長会の佐々木さんという意見がありましたがいかがでしょうか。</p> <p>（拍手）</p>

事務局（白田）	<p>委員長は、行政区長会の佐々木さんをお願いします。</p> <p>副委員長はいかがでしょうか。ご意見がないようでしたら、事務局に腹案がありますので、提案させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>（一同了承）</p>
事務局（白田）	<p>副委員長は、学識経験のある専修大学の講師である熊坂さんが適任ではないかと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>（拍手）</p>
事務局（白田）	<p>それでは、委員長を行政区長会の佐々木さん、副委員長を専修大学講師の熊坂さんをお願いしたいと思います。佐々木さん、熊坂さん、委員長及び副委員長の席へ移動をお願いします。</p> <p>委員長に就任された佐々木様から、ご挨拶を頂きたいと存じます。</p>
佐々木委員長	<p>委員長を務めさせていただきます佐々木でございます。皆さまのご協力をいただきながら重責を果たしてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>（拍手）</p>
事務局（白田）	<p>有識者会議設置要綱では、「委員長は、有識者会議を総理する」とありますので、以下の議事進行は、委員長をお願いします。</p>
佐々木委員長	<p>しばらくの間、議長を務めさせていただきます。委員の皆様方には、円滑な議事進行にご協力をお願いします。</p> <p>議事（２）有識者会議の役割と会議の進め方について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局（千葉）	（２）有識者会議の役割と進め方について （資料１、２について説明）
佐々木委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。 ご意見がないようですので、次に進みます。
事務局（濱田）	（３）スケジュールについて （資料３について説明）
佐々木委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
B委員	会議の開催日について、日付や曜日などの決まりがあれば教えていただきたい。
事務局（白田）	曜日等は決めていません。計画の策定状況に応じて、会議を設定させていただきたいと思います。
B委員	会議日程の連絡は、いつごろ頂けますか。
事務局（白田）	事前にご都合が悪い日を伺って、避けるように日程を組みたいと思います。 また、開催通知は、余裕を持ってお送りします。
C委員	時間は午後６時からと考えてよろしいですか。
事務局（白田）	毎回午後６時開催を予定しています。次回、第２回の有識者会議は、８月１１日火曜日、午後６時から予定しています。
D委員	アンケート調査の配布枚数をお尋ねします。
事務局（白田）	２０歳以上を対象としたアンケートは、無作為抽出で２,０００通。また、１６歳以

A委員	<p>上40歳未満の方を対象としたアンケートも2,000通で、合計4,000通を重複しない形で送付しています。</p> <p>本日の委嘱状では、任期は平成27年7月1日から2年間でしたが、来年の3月に印刷・製本が終わった後のスケジュールを教えてくださいと思います。</p>
事務局（千葉）	<p>総合戦略の進捗管理や効果の検証等をお願いしたいと考えています。</p>
佐々木委員長	<p>他にご意見等ありませんか。無いようですので、以上で本日の議事は全て終了しました。これをもって、議長の職を解かせていただきます。</p>
事務局（白田）	<p>次第6の講演の準備のため、10分ほど休憩を取らせていただきます。</p> <p>（休憩）</p> <p>6 講演「まち・ひと・しごと創生について―地方創生において重要なこと―」（熊坂氏による講演）</p>
事務局（白田）	<p>ただ今の講演の内容について、ご質問がありましたらお願いします。</p>
E委員	<p>今、国が行っている少子化政策をどのように評価したらいいのかを伺いたいと思います。</p> <p>もう一つ、1都3県の人たちが介護難民になるというときに、確か、今の10倍以上の人が流れてくるのではないかとされていますが、その辺はどのようにお考えですか。</p>
熊坂副委員長	<p>国の少子化政策をきちんと分析はしていませんが、労働政策、女性活用、税制、所得政策など、政策のメリハリを付けないと効果は分かりにくいと思います。</p> <p>介護難民は専門外ですが、今までは若者の移住を促す政策に力点を置いていたけれど、介護やお年寄りの受け皿になる施設をつくるとか、サポートする人</p>

D委員	<p>材を輩出できるようにする政策を首都圏で早くやらないと、大変なことになると考えます。</p> <p>住民の地域生活についてですが、ローカル型スローライフで、茨城では成功しています。このローカル型で、フランスも日本と同じような取り組みを行い、移民政策や子どもたちの教育関係、生活環境を豊かにすることによって、少子化から抜け出しています。田舎のローカルないいイメージをうまく活かして、都会や他の地域とは違う部分を引き出せれば、先生が言われているシナリオはうまくいくと思いますが、先生はどのように思われますか。</p>
熊坂副委員長	<p>地方創生担当大臣の石破さんは、日本全国のシンポジウムで田舎ライフが成功している事例を紹介しています。日本では、田舎のいろいろな仕掛けをもっと大事に作り込んで、浅草や秋葉原に来た外国人を田舎に誘導することができればいいなと思います。</p> <p>シンポジウムの際、石破さんや政府の人は、アンケート調査では東京に住む41%の人が田舎ライフを志向していて、特に若い女性が多いと言っています。田舎ライフの普及のためには、その受け皿をつくらないとならないと思います。</p>
事務局（白田）	<p>他に、質問はよろしいでしょうか。熊坂先生、ありがとうございました。</p> <p>（拍手）</p> <p>7 その他</p>
事務局（白田）	<p>次第7「その他」について、事務局の担当から説明します。</p>
事務局（千葉）	<p>次回の予定は、8月11日、午後6時から開催予定です。後ほど郵送でご通知しますので、ご確認の上ご出席をお願いします。</p> <p>もう1点、会議が始まる時に受付で、承諾書と講座の振込書を提出いただきましたが、交通費相当分を費用弁償させていただきますので、月末に、通帳をご確認ください。</p>

事務局（白田）	<p>8 閉会</p> <p>これをもちまして、第1回白岡市まち・ひと・しごと創生有識者会議を終了いたします。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。</p> <p>年 月 日</p>	